

「消化器病センター」の新体制

チーム医療で迅速・最適な対応を目指す

湘南、鎌倉エリアで中核的総合病院としての役割を担う湘南鎌倉総合病院（鎌倉市岡本、塩野正喜院長）では、この4月から「消化器病センター」の体制を一新した。消化管や肝臓、胆嚢、脾臓の疾患に対する、より高度で専門的な医療体制の構築を目指したものだ。賀古真センター長に聞いた。

消化管、肝胆膵の専門家が集結

—「消化器病センター」の体制を改めた理由は。

賀古センター長（以下、賀古）：まずは人的な充実が挙げられます。「消化管部門」（食道、胃、小腸、大腸）に江頭秀人部長が、肝臓、胆嚢、脾臓の疾患を診療する「肝胆膵部門」に金原猛部長（肝臓）、小泉一也部長（胆嚢）、というそれぞれの分野のスペシャリストが揃つたことで、より専門的で高度な医療を行うことがで

きるようになりました。これらの臓器は食べ物を消化、吸収するという意味でも密接な関わりがありますから、「消化器病センター」という一つのチームとすることで、患者さんに迅速かつ最善の医療を提供したいと考えています。

また患者さんにとっては、どの科にかかつたらよいのか分からぬときなどに、

—「消化器病センター」

の体制を改めた理由は。

賀古センター長（以下、賀古）：まずは人的な充実が挙げられます。「消化管部門」（食道、胃、小腸、大腸）に江頭秀人部長が、肝臓、胆嚢、脾臓の疾患を診療する「肝胆膵部門」に金原猛部長（肝臓）、小泉一也部長（胆嚢）、というそれぞれの分野のスペシャリストが揃つたことで、より専門的で高度な医療を行うことがで

きるようになりました。これらの臓器は食べ物を消化、吸収するという意味でも密接な関わりがありますから、「消化器病センター」という一つのチームとすることで、患者さんに迅速かつ最善の医療を提供したいと考えています。

また患者さんにとっては、どの科にかかつたらよいのか分からぬときなどに、

—「消化器病センター」

の体制を改めた理由は。

賀古センター長（以下、賀古）：まずは人的な充実が挙げられます。「消化管部門」（食道、胃、小腸、大腸）に江頭秀人部長が、肝臓、胆嚢、脾臓の疾患を診療する「肝胆膵部門」に金原猛部長（肝臓）、小泉一也部長（胆嚢）、

—「消化器病センター」

の体制を改めた理由は。

賀古センター長（以下、賀古）：まずは人的な充実が挙げられます。「消化管部門」（食道、胃、小腸、大腸）に江頭秀人部長が、肝臓、胆嚢、脾臓の疾患を診療する「肝胆膵部門」に金原猛部長（肝臓）、小泉一也部長（胆嚢）、

—「消化器病センター」

の体制を改めた理由は。

賀古センター長（以下、賀古）：まずは人的な充実が挙げられます。「消化管部門」（食道、胃、小腸、大腸）に江頭秀人部長が、肝臓、胆嚢、脾臓の疾患を診療する「肝胆膵部門」に金原猛部長（肝臓）、小泉一也部長（胆嚢）、

—「消化器病センター」

の体制を改めた理由は。

賀古センター長（以下、賀古）：まずは人的な充実が挙げられます。「消化管部門」（食道、胃、小腸、大腸）に江頭秀人部長が、肝臓、胆嚢、脾臓の疾患を診療する「肝胆膵部門」に金原猛部長（肝臓）、小泉一也部長（胆嚢）、

消化器病センター 賀古 真センター長

「より高度で専門性の高い医療を適切に患者さんに提供できるようになった」と話す

主な対象疾患

◆消化管部門

- 逆流性食道炎
- 胃十二指腸炎・胃十二指腸潰瘍
- 過敏性腸症候群などの機能性胃腸症
- 感染性腸炎
- 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クロhn病）
- 消化管狭窄
- 食道ガン・胃ガン・大腸ガン

◆肝胆膵部門（肝臓）

- B型慢性肝炎
- C型慢性肝炎
- 急性肝炎、劇症肝炎
- 肝硬変
- （食道静脈瘤等を含む）
- 肝臓ガン

◆肝胆膵部門（胆膵）

- 脾ガング
- 胆道ガング
- （胆管ガング・胆嚢ガング）
- 総胆管結石
- 急性胆管炎
- 急性・慢性胆膵炎

医療法人沖縄徳洲会

湘南鎌倉総合病院
TEL:0467-46-1717

鎌倉市岡本1370番1

JR大船駅から徒歩20分

(同駅より10分間隔で
無料シャトルバスを運行しています)

<http://www.shonankamakura.or.jp>



「断らない救急」を掲げる湘南鎌倉総合病院。救急搬送された患者の入院受入れ件数が2年連続で国内最多。昨年4月には県内民間病院として初の「救命救急センター」に指定された

